

後援 山口県教育委員会

ファンダメンタルズ

第一線の 探究は、 こうやって進んでいる。

科学者・アーティストの 研えないやり方

研究や制作の現場で日常的に問いを立てている20名の科学者とアーティストが
その「思考の途中」を共有します。

撮影：西村伊央

ファンダメンタルズ フェスmini 2022、東京大学駒場小空間、2022年12月

ファンダメンタルズ フェス mini in 山口

入場無料

2026 3/28(土)・29(日)

山口情報芸術センター[YCAM]

3/28(土)	午前	10:00~ 12:00	ファンダメンタルズによる 口頭発表	午後	14:00~ 17:00	来場者との 対話
3/29(日)	午前	10:00~ 12:00	ファンダメンタルズによる 口頭発表	午後	14:00~ 16:00	来場者との 対話

専門知識不要／出入り自由／展示物は常時鑑賞可
※詳しいタイムテーブルはQRコードから公式サイトをご覧ください。



「可視化ユニット」*による展覧会「混ざりあう実験」

3/30(月)~5/1(金)【土日休み】 山口大学理学部1号館

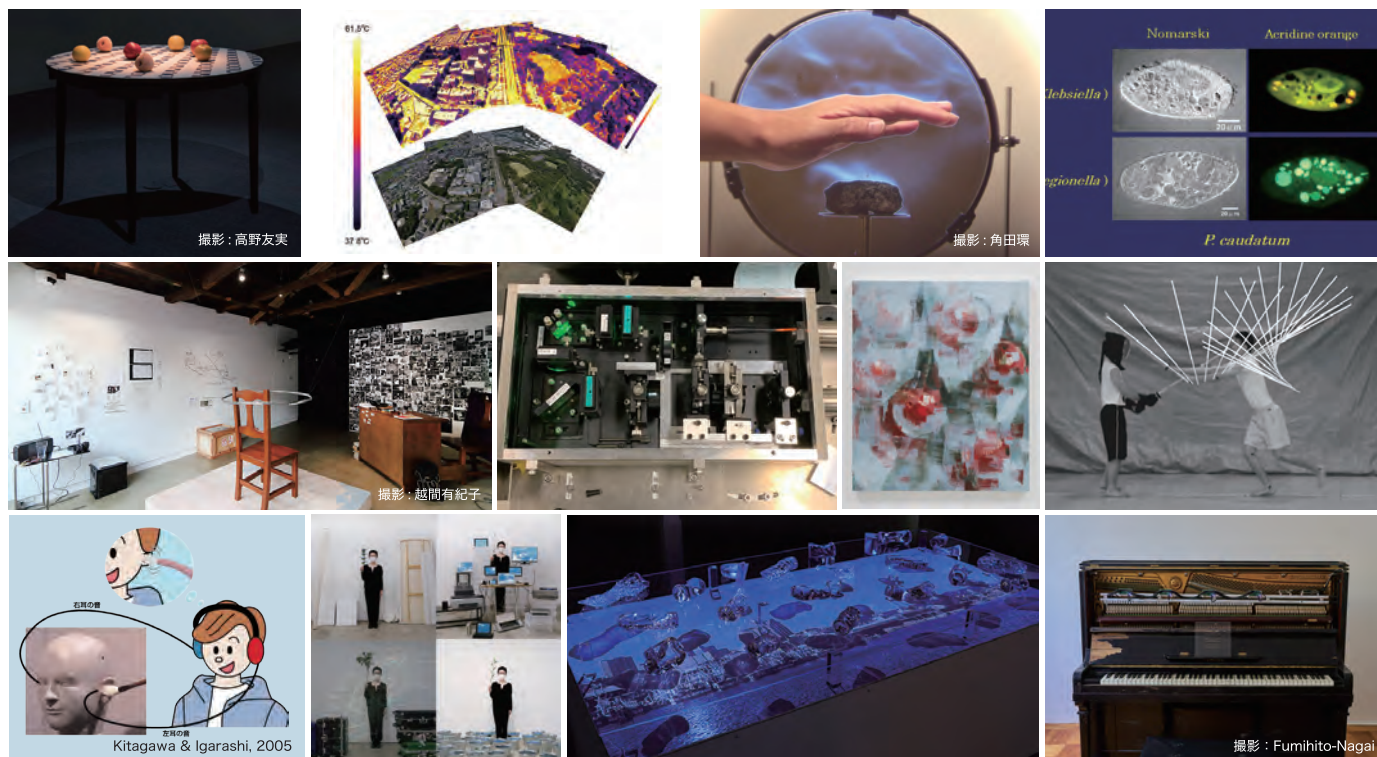
※ファンダメンタルズ プログラムの物理化学者1名とアーティスト6名によるユニット



研究データや試作、模型、ドローイングまで。いま動いている20名の
思考の途中を、展示・発表・対話でのごよう。なんてことない日常から
未知の地平へ向かう、その途中に立ち会う。

2026年度 参加科学者・アーティスト募集
詳しくはウェブサイト(fundamentalz.jp)をご覧ください。(3月公募開始)

研究と制作の現場で問いを立て続けている人たちが、同じ場に集まります。



一見異なって見える科学者とアーティスト。しかし、なにか“普遍”に通じるものを追究するという点で両者は等しいのだ。彼らをファンダメンタルズと呼ぼう。

ファンダメンタルズ プログラムには、多様な領域から第一線の科学者・美術家が参加しています。

山口情報芸術センター [YCAM]



YCAMでは、展示／対話／資料公開などを通して、探究の途中にある試行や思考の痕跡をひらきます。

日時 **3/28(土)・29(日)** 10:00~17:00
(29日は10:00~16:00)

アクセス 〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7

【徒歩】 JR山口駅より **約20分**

【バス】 防長線「山口駅」→「情報芸術センター前」 **約10分**

山口大学(吉田キャンパス) 理学部1号館 2階 247室



「混ざり合う実験」可視化ユニット

普段は研究を行う実験室で、アーティストと科学者が実験をテーマにした作品、研究などを展示します。

日時 **3/30(月)~5/1(金)** 10:00~18:00
※平日のみ(土日休み)の開催となります。

アクセス 〒753-8512 山口県山口市吉田1677-1

【バス】 防長線「山口駅」→「山口大学」 **約28分**

参加科学者・アーティスト一覧(五十音順・敬称略)

【科学者】

一ノ瀬俊明(都市環境学|国立環境研究所)

北川智利(心理学|立命館大学/吉賀心理学研究所)

坂井伸之(宇宙物理学・スポーツ物理学|山口大学)

杉井学(情報生物学|山口大学)

堀川裕加(物理化学|山口大学)*

【アーティスト】

岩泉慧(絵画)

小畑亮平(インスタレーション)*

角田優(彫刻/インスタレーション)*

梶田有理(絵画/インスタレーション)

菊池遼(絵画)

黒沼真由美(編み物/インスタレーション)*

コイズミアヤ(工作)*

小宮太郎(インスタレーション)

諏訪葵(インスタレーション)

野口桃江(実験音楽/インスタレーション)

平井好哉(インスタレーション)*

三瓶玲奈(絵画)*

メランカオリ(占い)

吉田ゆう(立体/写真/複写技法)

Life is a Poem(アップサイクルアート)

*可視化ユニット

ファンダメンタルズ プログラムの科学者とアーティストによるユニット

